

橘の名をきっかけに交流続く



7月12日から14日、佐賀県武雄市橘町の橘小学校6年生が橘地区に研修で訪れました。橘小学校の子どもたちや自治会の方々が、旧町名の橘をきっかけに5年前から訪問を続けています。3日の滞在期間中、カヌー教室や郷土料理作りを体験しました。手紙などをやりとりしている安下庄小学校の6年生と、お互いの町の紹介や鼓笛隊の演奏をしたあと、ゲームや歌で交流しました。

夏本番、親子で海水浴

7月29日、久賀保育園の園児がピー玉海岸で親子海水浴を楽しみました。色とりどりの浮き輪を手に、子どもたちは梅雨明けの青空のもとで元気いっぱい泳いでいました。

久賀高等学校の生徒もボランティアで参加し、子どもの浮き輪を引っ張って遊んだり、安全に泳げるよう目を配ったりしながら交流をしました。海水浴の合間には、砂浜で踊りの披露やスイカ割りをして夏の日差しに負けずに遊びました。



交通安全を呼びかけ



7月10日から19日、夏の交通安全県民運動が実施されました。初日、町長が旧バス停から久賀の旧道を通り、登校中の生徒などに交通安全を呼びかけました。また、交通指導員さんへ早朝からの立哨のお礼や、大島病院前で大島商船高等学校・田布施農業高等学校の生徒と一緒に交通安全立哨を行いました。

親子でたなばた祭り

しまとぴあスカイセンターで7月6日、親子でたなばた飾りを作りました。折り紙で作った短冊やちょうちんをササの枝に付け、きれいなたなばた飾りができあがると、子どもたちは小さな手でうれしそうに抱えています。

飾りができたあとは、母子保健推進員さんのエプロンシアターを見たり、たなばたの歌を歌ったりしてたなばた祭りを満喫しました。

